

日本発達障害ネットワークながの (JDDnet ながの)

(*4) 日本発達障害ネットワークながの (JDDnet ながの) は全国組織の日本発達障害ネットワーク (JDDnet) と連携し、県内の発達障がいに関わる様々な立場の人・団体などをつなぎ、発達障がいの理解や支援を進めるネットワークとして 2013 年に発足しました。

運営は医療・教育・福祉等の専門家である理事が行っており、長野県自閉症協会、長野県 LD 等発達障害児・者親の会よつ葉の会、長野県公認心理師・臨床心理士協会、長野県言語聴覚士会、特別支援教育士 S.E.N.S の会長野支部会、長野県社会福祉士会、長野県精神保健福祉士会が正会員として活動しています。

セミナーの開催や会報の配信、ながの発達障害啓発週間「結」プロジェクトの運営とそのためのチャリティセミナーを行っています。

一般会員 (個人) はどなたでもなれます。寄付も受け付けておりますので、ご協力いただける方はホームページよりお問合せください。

<https://jddnagano.jimdo.com/>
jddnagano@gmail.com



「結」の白い部分に
あなたの想いを
書くことができます。

活きる個性を。
この想いが地域に、日本に、そして世界に
広がっていくことを願っています。



(*5)
長野県発達障がい者支援シンボル・マーク
「結 (ゆい)」

2012 年度に制定した、長野県の発達障がい者支援シンボル・マークです。ライトブルーの色は、世界自閉症啓発デーのシンボル・カラーであり、鳥は山を越えて正しい理解が県内中に広がるようにという願いが、紐を結んだ形は年代や分野を超えて関係者や県民が結びつくようにという願いが込められています。

ながの発達障害啓発週間 「結」プロジェクト

 4月2日～8日

自閉症をはじめとする発達障がい(*1)について、長野県民の皆さんに関心を高め理解を深めていただくため、長野県と JDDnet ながの(*4)は、世界自閉症啓発デー(*2)や発達障害啓発週間(*3)の機会を捉え、親・家族の会の皆さん等と協力して啓発活動「結」プロジェクトを行っています。



長野県合同庁舎等、県内 10 圏域 20 ヶ所以上で、長野県発達障がい者支援シンボル・マーク「結」(*5)にメッセージを書き込み掲示する参加型のイベントです。

主催：日本発達障害ネットワークながの (JDDnet ながの)

共催：長野県 後援：長野県教育委員会

(*1) 発達障がいとは

発達障がいには自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(学習障害)、その他これに類する脳機能障害などがあります。発達障がいは、生まれつき脳の機能の一部に問題があって生じますが、すべての子どもたちは、いろいろな可能性と個性を持って生まれてくるものであり、発達障がいもそうした生まれながらの可能性や個性の1つと考えています。

発達障がいといっても状態像は多様です。また、同じ診断名でも、子どもの個性や、発達の状況や年齢、置かれた環境などによって目に見える症状は異なります。彼らのよりよい人生を確かなものにする意味でも、早期からの専門的な療育や支援が必要です。

「障がい」という言葉は、成長の中で「困ること」が生じる場合につけ加える言葉です。人々が発達障がいを正しく理解し、その人が「困ること」をしっかり把握できることで、発達障がいの方がよりよく自分らしく生きていけることになります。

(*2) 世界自閉症啓発デーとは

2007年に国連総会において、カタール王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。



信州の空へ
みんなの想いや願いを乗せた青い鳥が
たくさん羽ばたきますように。
山を越えて正しい知識が広がりますように
地域や分野を越えて、
人と人がしっかりと結びつきますように



(*3) 発達障害啓発週間とは

2008年度、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会(厚生労働省、日本自閉症協会等)が、毎年4月2日から8日を発達障害啓発週間とすることを決定し、この期間を中心に全国各地で、国、都道府県、市区町村、関係団体等が発達障がいに関する啓発活動を活発に行っています。

発達障がいについて知っていただくこと、理解していただくことは、発達障がいのある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えています。



ずっと、つながる。
もっと、ひろがる。

過去から未来へ、人から人へ、
手をつなぎ合っていくように、
理解と支援もつながり続けていく。

その人がその人らしく、
ちょっとした支えで。
「JDDnet HP より」